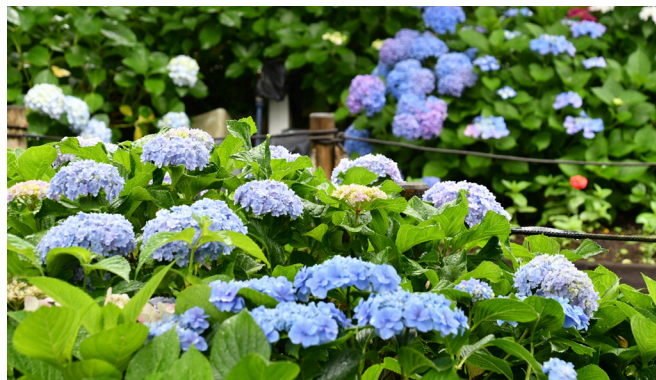


大田区
Ota City
令和7年
10月発行



大田区役所

☎ 5744-1111 (代表)
〒144-8621 大田区蒲田5-13-14
ホームページ **大田区** 検索
<https://www.city.ota.tokyo.jp/>

- お近くの医療機関案内
東京都医療機関案内サービス
『ひまわり』 ☎ 5272-0303 [24 時間]
聴覚障がい者用 ☎ 5285-8080 [24 時間]
外国語による案内 ☎ 5285-8181 [午前9時～午後8時]
(英語・中国語・ハンブル・タイ語・スペイン語)
- 救急車を呼んだほうがいいか迷ったら [24 時間]
東京消防庁救急相談サービス
『救急相談センター』 #7119 または ☎3212-2323

大田区公式SNS 行政情報等を発信



大田区ならではの魅力を発信 シティプロモーション



大田区防災 ポータル・アプリ

防災情報を確認できます。
ポータルサイト



防災アプリ

大田区防災アプリ 検索

エリア別特集など

引っ越し
ガイド

もしもの
ときの
連絡先

相談
ガイド

施設
ガイド

戸籍、
住民票、
マイナンバー
など

マイ
ナンバー

国保、
年金

税金

保健、
衛生

福祉

子ども

暮らし

資源と
ごみ、
リサイクル

住まい、
まちなみ、
環境

防災、
防犯

産業、
仕事

学習、
文化、
余暇、観光

国際交流、
多文化共生、
宣言

身近な
区政

区内施設
ダイヤル
ガイド

町名別
管轄区域
一覧

さくいん

ハザード
マップ

大田区の紹介

大田区は 23 区で最大の面積を持ち、人口約 74 万人の大規模な自治体です。

日本の空の玄関口である羽田空港をはじめ、高い技術力を誇る町工場、都内最多の商店街や銭湯、歴史や文化芸術を身近に感じられる施設やイベント、四季を感じる公園や多摩川など、大田区はさまざまな魅力にあふれ、「東京の縮図」と言われています。

大田区は基本構想で掲げた「心やすらぎ 未来へはばたく 笑顔のまち 大田区」を実現するため、令和 7 年 3 月に「大田区基本計画」を策定しました。少子高齢化や価値観・ニーズの多様化、さらにはテクノロジーの進化など、社会が大きく変化する今、暮らしの質やまちの価値を高める取り組みを推進するとともに、日々の暮らしに寄り添う施策を着実に進めてまいります。そして、子ども・若者から高齢の方まで、誰もが「住み続けたい」と感じられる大田区を、これからも皆様とともにつくってまいります。

この冊子は、大田区で生活する皆様の日常生活に関わりの深い区の事務をはじめ、国や都の事務、各種相談窓口や区民施設の利用案内などを掲載しております。この冊子をご活用いただき、皆様の生活にお役立ていただきますようお願いいたします。



令和 7 年 10 月 大田区長 鈴木 晶 雅

区の紋章



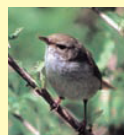
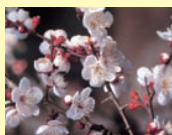
区民の皆さんから公募し、1429 点の作品の中から本山芳氏の図案をやや修正したものを区の紋章として昭和 27 年に制定しました。

平和のシンボルマーク



大田区は昭和 59 年 8 月 15 日に平和都市宣言を行い、記念行事として、その日に「平和のつどい」を開催しています。(→133 ページ参照)

区の木・クスノキ／区の花・ウメ／区の鳥・ウグイス



成長の早いクスノキは発展の象徴、早春に咲くウメは古くから大田区の地になじみがある花です。またウメの咲く早春を告げる鳥・ウグイスは自然保護のシンボルとして制定しました。

区歌



区民の皆さんから歌詞を公募し、山田耕作氏の作曲で昭和 29 年に制定しました。

●区名の由来

大田区の前身である大森・蒲田の両区は、昭和 7 年 10 月に、当時の東京市が隣接する郡町村を合併した際に設置されました。馬込、東調布、池上、入新井、大森の 5 つの町が大森区に、矢口、蒲田、六郷、羽田の 4 つの町が蒲田区になりました。昭和 22 年 3 月 15 日に、当時の大森区と蒲田区が一緒になって誕生したのが大田区です。その際、両方の一字ずつを取って命名されました。

●歴史・沿革

海と川に臨み、武蔵野台地の先端に位置していることから、昔から人が住みやすく、交通の要路でもあったため、区内には大森貝塚、多摩川台古墳群、池上本門寺五重塔など多くの史跡が点在しています。また、水止舞や禰宜（ねぎ）の舞などの伝統芸能も数多く残されています。

江戸期は農漁村で、特に海岸の大森・糀谷・羽田地区では海苔（のり）の養殖が盛んに行われました（昭和 38 年まで存続）。また、東海道の街道筋にあたっていたため、人馬の往来でにぎわいました。

大正期以降、中小工場が進出し、低地部は住宅や工場が密集する商業・工業地域を形成し、京浜工業地帯の一部となっています。台地部は、関東大震災後に住宅化が進み、田園調布、雪谷、久が原など比較的緑の多い住宅地です。臨海部は埋め立て地から成っており、羽田空港をはじめトラックターミナルやコンテナふ頭、大田市場などの物流施設や、工場団地、野鳥公園など都市機能施設が整備されています。

●区の世帯・人口・面積（令和 7 年 4 月 1 日現在）

世帯数…421,922 世帯

総人口…742,842 人 日本人人口…… 710,144 人 外国人人口……… 32,698 人

面積…61.86km²

●大田区歌

1 明けわたる 新たな朝よ
田園の みどりも息吹く
あゝ こゝぞ あゝ こゝぞ
さやかなる 多摩の流れに
のせゆくは 自治の歌声
光あり 我らが大田
光あり 我らが大田

2 におい立たつ 火花と汗に
生産の 幸呼ぶところ
あゝ こゝぞ あゝ こゝぞ
のぞみある 日々をつちかい
すこやかに ひらく文化よ
力あり 我らが大田
力あり 我らが大田

3 靑潮に かがやき映えて
天かける つばさの港
あゝ こゝぞ あゝ こゝぞ
いらか波 遠くつらなり
とこしえの 栄えめざして
誇りあり 我らが大田
誇りあり 我らが大田

令和 7 年 10 月発行 ■発行／大田区 〒144-8621 大田区蒲田 5-13-14 TEL 03-5744-1111（代表）

本紙に掲載されている情報は、原則令和 7 年 10 月 1 日現在のもので、その後内容に変更が生じる場合もあります。掲載内容が変更される場合には「大田区報」や区のホームページ（<https://www.city.ota.tokyo.jp/>）で随時最新の情報を発信しています。